



スピアフィッシング

素潜りで魚を突く、エキサイティングで楽しい魚獲りの方法

身ひとつで海に潜り、手鉈で魚を突く「スピアフィッシング」。人間と比べ、水中では圧倒的に運動能力が優れる魚を突くには、魚の習性を知り、自らの身体能力を磨く必要がある。手軽に始められる一方で、奥が深い、この遊びの基本を解説する。



スピアフィッシングは、身体能力を要求される野性的な遊びであると同時に、知的な遊びでもある。釣りと同様、魚の居場所や生態を熟知することが求められる。

スピアフィッシングの魅力

「スピアフィッシング」とは、スピア＝手鉈を使って魚を獲るスポーツだ。タンク（空気ボンベ）を使用せず、素潜りで魚を探し、ときに追いかけて、ときに待ち伏せて、手鉈が届く範囲まで近づいて突く、いわば水中の「狩り」だ。しかも、フィールドは人間にとって圧倒的に不利な水の中。薄暗い根の陰や、速い潮が流れる環境のなか、人間よりも運動能力に優れる力強い魚を獲ったときの喜びは、釣りに勝るとも劣らない。

スピアフィッシングは、魚を直接、目で確認して獲ることから、「野蛮」というイメージをもつ人もいるかもしれない。その言葉は当たらなくとも、一定以上の身体能力が求められる、野性的な遊びであることは確かだ。だが、それだけではない。スピ

アフィッシングは、魚の生態や行動を知り、居場所を推測する知的な遊びでもある。

また、陸上から楽しめる釣りと比較して危険度が高く、それを回避するための知識や経験も必要とされる。海、すなわち自然のなかに深く入り込む遊びであるだけに、体力・知力・経験のすべてにおいて、トータルな能力が必要なのだ。そしてその能力は、釣りをするうえでも必ず役に立つ。

スピアフィッシングのルール

漁業者以外が海産物を捕獲することに対しては、主に漁業者保護の観点から、さまざまなルールが設定されている。

まず、スピアフィッシングそのものが許可されていない自治体があることに注意が必要だ。水産庁のHP (<http://www.jfa.maff.go.jp/>) の「遊漁の部屋」「遊漁・海

● 第一人者が解説



スピアフィッシングは世界的にポピュラーな遊び。海外でも有名な第一人者・小島章司氏に、スピアフィッシングの基本を解説・監修していただく。